

道標ない旅 考えて行動できる人

～自立・創造・しなやかな心～



令和5年度 第6号
2023.5.31発行
葉山町立南郷中学校
校長 益田 孝彦
Tel. 046-875-9494
Fax. 046-876-0684

<https://www.town.hayama.lg.jp/nangou/index.html>

◆◆ 体育祭を無事終えることが出来ました。 ◆◆

先日行われたPTA運営委員会にて、保護者の皆様への感謝をお伝えしました。保護者の皆様のご協力無しには成立しなかった体育祭と感じております。そのことについてはPTAが発行する便りの方に寄稿しましたのでそちらをご覧ください。

ここでは運営委員会を通して寄せられた皆様の疑問にお答えしていきたいと思っております。

(1) 予備日を設けている中で、なぜ雨の開催をしたのか理由を伝えてほしい。

→①南郷中学校は場所がら、増便バスを京急バスさんをお願いしているが、土曜日は開催予定で予約していたが、日曜日は不確定なので予約することが出来ていなかったこと。②ウエザーニュース、tenkijpなどどこが発信している天気予報においても、6時過ぎに雨雲が消えていき、雨を降らすような天気は早い段階で回復すると期待でき、前日多くの雨が降ったはずの校庭も午前4時台において使用可能と判断できる状況であったこと。③日曜日開催の場合出場できない生徒が一定数存在したこと。④日曜日開催の場合、上の山公園駐車場がお借りできないこと。⑤晴天では熱中症の心配が生じること。といった事情があり、簡単に日曜日に変更できない理由がありました。

(2) 葉山マラソンといった予定が分かっているなら、そこに
体育祭を持ってくるのはいかがなものか？



→計画時にはバッティングしている他団体行事は例年通りなかったと聞いています。次年度同じ事が起こらないよう、葉山町陸上競技協会様とも連絡を取り合っているところです。

(3) ・開催時間の連絡がギリギリ（海側の家庭は出発していた）過ぎた上、安心メールが届かない家庭もあった。

・前日までに体育祭当日の朝方まで雨の予測がされていたので、体育祭前日に学校側から保護者宛で開始時刻が遅れる可能性や、小雨決行の場合プログラムの前後変更等が予測される可能性がある旨のメールをいただきましたかった。

→開始時間を遅らせることをお伝えする時間が自宅を出発する時間に間に合わなかったご家庭には心よりお詫び申し上げます。本校は、増便バス時刻を指定していることや、表現等の審査を審査時間を添えて外部の審査員の方々にお願いしていることがあり、時間通りに進むことを期待してしまう傾向があります。6時半に予定していた開催の有無の判断メールは5時40分台に配信できたのですが、その後の霧雨が弱まったり強まったりの状況に、肝心の開始時刻の決定が遅れてしまいました。申し訳ありませんでした。

→安全な実施を考えて、プログラムを大きく動かすことになったことは申し訳ありませんが、保護者の皆様の心広いご理解の下、それを容認いただきましたことに感謝申し上げます。

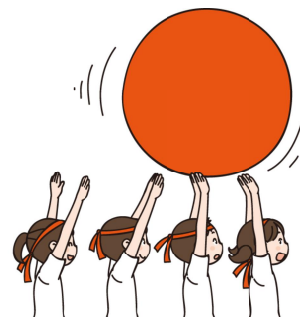
→あんしんメールが届かないトラブルは例年何件か伺っています。学校では対処できないため、あんしんメールサポートセンターに連絡を入れていただいて原因を調べ対応してもらっています。また、このようなことが度々起きている現状を町教委に伝え、町教委で保護者メール業者の検討をいただいているところです。一方、メールの不具合が起りやすい原因として、短時間に何通もPCからのメール配信を行うと迷惑メールと判断される機種があるようなので、度々のメール発出は控えているという事情があります。

(4) 子どもにとっては大事な行事で、雨の中、プログラムの変更や毎日練習してきた表現も採点方法が変わり、3年生にしてみれば最後となるのに、酷いと思った。

→安全重視の観点からプログラムの変更を伴いましたが、旗審査・表現の審査とも予定していた審査員は全員揃い、採点方法を変えずに審査いただきました。生徒の頑張りはきちんと受け止めていただいております。

(5) 今回のように雨が途中で止む予報の場合、無理やり午前中から体育祭を開催せず、午後開催にしてもいいのでは。

→南郷中の増便バス問題が深く影を落としています。今回京急バスさんのご厚意で、1時55分の増便バスをキャンセルし、急遽3時の増便バスをお願いすることが出来ました。時程の変更がフットワーク軽く自由に選べる学校なら良いのですが、南郷中学校には時程変更の難しさを、審査員、そして応援・参観に来ていただく方々の来校時間を含めて有しているのが実情です。とはいえ大事なご指摘なので、改善点がないか更に検討を加えていきたいと思っております。



(6) 最後の表彰式の時、保護者も見られると思っていた。坂道の所からは、よく見えないので、考えていただきたい。

→楽しみにしていた保護者の方々には本当に申し訳ありませんでした。自転車通学の生徒はバス利用となりますが、土曜日の通常バスは長柄交差点で逗子駅に向かってしまい、海岸回りではありません。今回、京急バス様のご厚意で、3時に海回りの増便バスをお願いすることが出来ました。逆に言うと、なんとしてもこのバスに関係する生徒を乗せなければならなくなりました。そのために、閉会式後すぐに石段を利用して3年生の卒業アルバム用の記念撮影を行う必要があり、保護者の方々には申し訳なかったのですが、体育館周辺からの移動をお願いいたしました。何卒ご理解ご容赦ください。

※3年連続で難しい天候判断が続きました。それでも結果的に無事開催できた裏には、日本手ぬぐいを皆様からのご提供でまかなうことが出来ましたことや、先述した京急バスさんのご協力、火曜日水曜日と連日100個を超えるお弁当対応していただいた洋食ふたみさんのご協力、体育祭会場にて諸事情を全て飲み込んで見守ってくださった保護者の皆様の献身的なご協力ご支援があったためだと思っております。本当にありがとうございました。生徒にはこれらの声援が必ずや届いていると思っております。

◆◆ 「誰も知らない小さな国」、コロボックルの世界をご存じですか？ ◆◆

私が生まれた昭和34年（1959年）に自費出版されたコロボックル物語シリーズの第1作。小学3年生の**ぼく**が、「地元の人が近づこうとしない小山に、もちの木が門柱のように立ち、小さな泉からは小川が流れ出し、^{ふき} 蕨の葉が生い茂る小さな三角形の平地（三角平地）を見つけた。」知り合いの蕨採りのおばあさんから、昔からこの山には「こぼしさま」と呼ばれる小人が住んでいるという言い伝えを聞く。次の年の夏休み、この小山に遊びに来たらしい小さな女の子が、三角平地を巡る小川にうっかり流してしまった赤い運動靴を**ぼく**は探してやることになった。ようやく見つけた靴を拾い上げようとして手を伸ばしたところ、その靴の中には…。



というコロボックルの世界観は、不思議と南郷中学校の環境とオーバーラップしている気がしています。実際本校には、植木鉢で上手に創ったコロボックルが住んでいますよね。この素敵な環境は守っていきたく願っています。「花ボラ」活動で維持していくわけですが、29日、生活リハビリクラブ葉山み・かーさの運営推進会議で、そこで活動する方々も花ボラ活動に興味を持っているとの声が届きました。花ボラ活動については、PTAの方から保護者の皆様により詳しい募集等を行っていくように聞いております。興味のある方は、是非南郷中を取り巻く環境維持活動等に積極的に参加していただければと存じます。